



くば小児科 クリニック

院内報 2014年2月・3月号

		午前	午後		予定・備考
4月1日	火				
4月2日	水		休診	11:30~	小久保保育園健診
4月3日	木			19:00~	休日夜間急病診療所当番(根城)
4月4日	金				
4月5日	土		~15時		
4月6日	日	休診	休診		
4月7日	月				小学校入学式
4月8日	火				
4月9日	水		休診	11:30~	白銀台保育園健診
4月10日	木				
4月11日	金				
4月12日	土		~15時	19:00~	休日夜間急病診療所当番(根城)
4月13日	日	休診	休診		
4月14日	月				
4月15日	火				
4月16日	水		休診		
4月17日	木				
4月18日	金				
4月19日	土		~15時		
4月20日	日	休診	休診		うぐいすマラソン
4月21日	月				
4月22日	火			13:00~	青潮小内科健診
4月23日	水		休診	13:00~	青潮小内科健診
4月24日	木				
4月25日	金			19:00~	休日夜間急病診療所当番(根城)
4月26日	土		~15時		
4月27日	日	休診	休診		八戸市民フィル定期演奏会
4月28日	月				
4月29日	火	休診	休診		昭和の日
4月30日	水		休診	13:00~	青潮小内科健診
5月1日	木				(5/5夜 急病診療所当番)

● 院内版感染症情報 ~2014年第13週 (03/24~03/30)

	第48	49	50	51	52	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13週
インフルエンザ	0	0	0	3	2	0	5	3	49	61	48	24	12	16	17	17	13	3
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶連菌咽頭炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎	1	7	9	7	6	3	2	6	5	1	7	3	4	12	13	3	6	3
水痘	0	0	0	2	1	1	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	1	1	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

今年のインフルエンザの流行は1月上旬から始まり、1月最終週にピークとなって2月末まで順調に減少したのですが、その後再び増加してだらだらと1か月も続き、3月末にはほぼ終息した模様です。今年はB型が優位であり、ここ十数年B型の小流行はみられていても多くの人は感受性があったために長引いたものと思われます。B型は初期に嘔吐などの症状を伴うことが多いのですが、適切に治療すれば重症化することは多くありません。A型も保育園など低年齢児を中心に流行しました。

ウイルス性胃腸炎(嘔吐・下痢・発熱)も2月末をピークに流行しましたが、減少傾向にあります。例年、初冬はノロウイルス、厳冬期から春先にかけてはロタウイルスが流行しますが、ノロよりもロタの方が重症化しやすいので注意が必要です。治療や看護や予防法は同じですので、検査で確かめる必要はありません。重症化防止のために、乳児期のロタウイルスワクチンの接種が勧められています。

インフルエンザの減少とともに、咳の出る一般的な風邪が見られるようになっていきます。その中にはRSウイルスなど重症化しやすいものもあり、むしろインフルエンザではない場合の方が注意が必要だと言えます。

● 予防接種の間隔の「上限」が撤廃 四種混合・日本脳炎など

これまでは、四種混合（従来の三種混合＋不活化ポリオ）や日本脳炎などの1期は間隔が定められていて、その期間を過ぎてしまうと接種対象年齢であっても無料の定期接種にはならないという馬鹿げた決まりがありました。これは、医学的に言えば全く意味のない無用な制限であり、以前から撤廃を要望していたところでしたが、やっと2014年度（この4月）から撤廃されることが正式に決まりました。

そうは言っても、好き勝手な間隔で接種しても良いというわけではないので、標準的な接種間隔で接種するようにはしましょう。具合が悪くなった後は、普通の風邪なら1週間程度、ある程度悪くなった後でも2週間程度あければ接種可能です。保育園の通い始めなどで症状が途切れない場合でも、軽い鼻水程度であれば接種できますので、あまり待たないで早めに接種していくようにしましょう。

● 水痘ワクチン定期化は秋から 子宮頸がん予防HPVワクチンは未定

まだ正式の通達はありませんが、水痘（みずぼうそう）と成人用肺炎球菌の2ワクチンの定期接種化がほぼ決定となりました。一緒に要望していたおたふくかぜ、B型肝炎、ロタウイルスワクチンの3つは見送りとなりましたが、来年度での実現が期待されています。水痘は秋から定期接種になる見込みですが、低年齢でかかることが多いので、それまで待たずに1歳過ぎたら1回は済ませておくようにしましょう。

（水痘ワクチンは効果がやや劣るので早期の2回接種が推奨されています）

水痘 1歳～3歳前 6～12か月（最低3か月以上）の間隔で 2回 0.5ml皮下注
（2014年度に限って生後60か月までが対象になる見込みとの情報ですが未定です）

一方、昨年から「積極的な勧奨」を見合わせている子宮頸がん予防HPVワクチンについては、結論に至らず先送りになっています（接種自体は継続しています）。1月の時点で、免疫や神経学的な機序は考えられず、心理的要因やストレスが一員となる可能性が高いと報じられています。この報道で「あの症状が気のせいなのか」という反発が出ているようですが、心理的要因とは気のせいという意味ではなく、自分で意識することのできない深いレベルでの体の反応という意味であり、ここでお伝えした「ワクチンの中身ではなく、接種そのものや接種手技との関連はあるかもしれない」という見解とも矛盾しません。接種の副反応と疑われている方の中には、時間的にみて関連が否定できないものと、否定的なものが入り混じっているようで、一元的な解釈はできそうにありません。今の日本では実質的な再開には時間がか

かりそうだし、すぐに感染して命を脅かす麻疹などとは元々位置づけが違う（小児科医としては優先順位は高くない）ワクチンなので、もう少し待つしかなさそうです。

● 風疹も2020年度までに「排除」目標に 麻疹が一部地域で流行

この2年間で成人男性を中心とした流行が大きくなった風疹について、2014年度でも接種補助が継続されることになったことに加えて、麻疹だけでなく風疹も「排除すべき感染症」であるということがやっと正式に確認されました。目標は2020年度です。現在の成人への接種補助は必要のない抗体検査で無駄な予算を費やしているだけでなく、接種対象を限っている不十分なもので、これでは風疹の「排除」（自然の流行がなく海外からの持ち込みがあっても流行しない）は困難です。

一方、千葉などで海外から持ち込まれた麻疹の流行が拡大しています。ここ数年で麻疹の「排除」まであと一歩という期待を抱いていただけに、非常に残念な事態であり、麻疹も風疹も青森まで波及しないように接種の徹底を図るしかありません。

● 「私たちは全面禁煙のお店だけを選びます」 禁煙店マップ公表

詳しくは次号に掲載する予定ですが、全面禁煙ではない飲食店では、中国の大気汚染で有名になった「PM2.5」が北京並の数値～数百 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ に上昇し、決して入ってはいけない危険レベルに達してしまいます（環境基準は35、外出自粛基準は70）。

本来、日本で受動喫煙防止法の制定期限は2010年だったのですが、政府や県はこれを無視したままの状態が続いています。青森県タバコ問題懇談会では条例化の要請と共に、「青森県の全面禁煙の飲食店マップ」を作成・公開して、全面禁煙の飲食店を積極的に応援すると共に、禁煙ではないお店の禁煙化を促しています。ご存知のお店があったら情報提供をよろしくお願いいたします。

★ 青森県の全面禁煙の飲食店マップ http://aaa.umin.jp/aomori_map.html

● 4月・GWの診療、急病診療所の予定

4月・5月は臨時休診の予定はありません。急病診療所当番は4/3(木)夜、4/12(土)夜、4/25(金)夜、5/5(祝)夜の予定です（GW後は未定ですがHPに掲載予定）。育児・子どもの心相談、禁煙外来（保険・予約制）は随時受け付けております。メール予約システムをご利用下さい（HPから）。♡ 当院は「敷地内禁煙」です

発行 2014年3月31日 通巻第168号 〒031-0823 八戸市湊高台1丁目12-26
TEL 0178-32-1198 <http://www.kuba.gr.jp/>